

科目名	電子機械システム工学特別研究 Thesis Work	科目コード	A1010
-----	-------------------------------	-------	-------

学科名・学年	電子機械システム工学専攻・1, 2年(プログラム3, 4年)
担当教員	電子機械システム工学専攻全教員
区分・単位数	必修・14単位
開講時期・時間数	通年, 630時間【内訳: 講義0, 演習0, 実験0, その他630】
教科書	
補助教材	
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

電子機械システム工学分野における研究課題について, 指導教員のもとで学術研究を行う。

関連する科目: 卒業研究(本科5年次履修), 専攻科ゼミナール(前年次履修), 学外実習(同前), 地域産業と技術(同前)

【B. 到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D), (E), (F), (G)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と, 成績評価上の重み付け, 各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
電子機械システム工学分野における特定の研究課題について, 指導教員のもとで, 材料学, 計測・制御工学, 設計・加工工学, エネルギー変換工学, 電子材料工学, 電子デバイス工学, 情報・通信工学, 環境エネルギー工学の各分野の学術研究を行い, その研究成果を論文にまとめる。	60%	(D,E,G,B,F)
研究成果の学会発表を目標とする。	10%	(D,E,G,B,F)
技術間髪能力, 研究遂行能力および発表能力を養成できたかを研究発表会において発表する。	30%	(D,E,G,B,F)

【C. 履修上の注意】

自主的に研究計画を作成し, 計画的に研究を遂行する必要がある。また研究発表では, 十分練習を行って, 他人に理解してもらえ発表を行う心構えが必要である。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

指導教員による評価(40%)

研究論文(40%)

研究発表(20%)

【E．授業計画・内容】

特別研究3点セット

- 1．特別研究報告書（論文）
指定期日までに各専攻科委員に2部提出．委員は主査・副査に査読審査を依頼．
- 2．講演要旨原稿（A4 4～6ページ）
指定期日までに各専攻科委員に原稿見本にしたがってPDFファイル，原稿を提出．
- 3．特別研究発表会
口頭発表（発表10分＋質問5分）

特別研究の成績評価

- 1．特別研究報告書と講演要旨原稿を提出し，特別研究発表会で研究発表を行った者について，次の手順で評価を行う．各評点は100点満点．
- 2．論文に対する主査の評点A，副査の評点B．
- 3．特別研究発表の評価は，原則として関連学科の全教員が出席して行い，平均点を評点Cとする．
- 4．指導教員の評点D．
- 5．特別研究の成績 = $0.2 \times (A + B + C) + 0.4 \times D$

1 学年中間発表

- 1．特別研究発表会の日にはポスターセッション形式で行う．
- 2．ポスター大きさはA1程度とし，講演要旨はA4版2ページを指定期日までに提出する．
- 3．成績評価は各指導教員が行う．